症に衝

東北大開発の治療法

けたデータ収集も加速され の各種検査や入院費に保険 い重い狭心症の患者に微弱 基づく装置の正式承認に向 用負担が軽くなる。薬事法に が適用されるため、患者の費 れた。衝撃波治療の実費以外 働省の「高度医療」に承認さ い治療法が、このほど厚生労 させるという、東北大の新し な衝撃波を当てて血流を改善 手術や投薬で治すのが難し

は、東北大医学系研究科の下 改善する。 血管が作られたりして症状が と、血管が拡大したり新しい 血部位)に衝撃波を照射する が悪くなった心臓の筋肉(虚 ギーを10分の1に弱め、血行 石を砕く衝撃波装置のエネル 波治療法」。腎臓や尿管の結 が開発した「低出力体外衝撃 川宏明教授(循環器病態学)

のチームが臨床試験をした結 境器内科の 伊藤健太准教授ら 下川教授と東北大病院・循

高度医療に承認されたの

くなった。患者に痛みや副作 血液を押し出す心臓の力も強 果、狭心症発作の回数が減り 用はなかったという。

剤が治療に使えるようにな 療を実施することが認められ は、同病院で50人の患者に治 めることが可能になる。今回 り、科学的データを迅速に集

従来のバイパス手術やカテー

は全身麻酔や手術がいらず、

治療チームは「衝撃波治療

る衝撃波治療装置 | 東北大提 狭心症患者の血流を改善させ

認した。これによって、正式 療の「第3項先進医療」に承 労省は今月1日付で、高度医 承認される前の医療機器や薬 これらのデータを踏まえ厚 適用されることになる。 れば、全額負担分にも保険が 回実施、3カ月後に治療効果 は3割程度の負担になる。 額負担となるが、保険が適用 る。これを1~2日おきに3 計200発の衝撃波を当て される治療時の検査や入院費 かる費用約27万円は患者の全 を評価する。衝撃波照射にか を確認しながら3時間かけて て、超音波装置で血管の位置 開発した装置を患者の胸に当 治療の手順は、心臓専用に 治療装置が正式承認され

> テル(医療用の細い管)治療 で治すのが難しい患者に、繰 り返し実施することができ

い」と話している。 の生活の質の向上につなげた 治療法を確立させ、患者

2010年7月23 新聞 朝 日